
其々の霸道 3

pokemomtyan

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

其々の霸道3

【Nコード】

N9183U

【作者名】

pokemonmtyan

【あらすじ】

菅のアホがまた、訳の分からない事を言う。

悪党どもの霸道（前書き）

感想を書いてね。

悪党どもの霸道

対馬沖で会談を終えた四皇の木村と渡は、解散しようとした。

木村拓哉（仕方ないがぶっちゃけ、其れもアంతの道だから仕方ねえな笑。）

渡哲也（グラグラグラ笑。久しぶりに楽しかったぜ。俺は暫く対馬に滞在すらあ。俺も竹島に上陸して韓国軍と一戦交えたかったが先を越された。俺も老いたもんだよ。。。対馬に暫く俺がいりやああいつ等もそんなに変な事はしねえだろ笑。）

木村（渡の親父。。仕方なえぶっちゃけ、対馬海流に乗って日本海を経由して能登半島で船を止めてサーフボードをして、其れから東北の被災地に行くか。今、俺は仕事がスマスマ以外無いから楽だぜ。）木村は笑いながら、ビールを飲み干して空き缶を海に投げ捨てた。渡（グラグラグラ笑。あんまり海を汚すなよ。）

木村（いや。。俺流の考えでは、空き缶を海に捨てると、穴に小魚が住み着くと考えているから住処を増やしていると思えば、良いことだしポイ捨て何て皆やってるし俺だけが悪いことじゃねえからな笑。）

渡（何か。。さりげなく、最低な事を言ってるぞお前。。呆。）

木村（メイビー。。そうだな。それじゃあ、船を出すぞオイ野郎ども叫！って。。ちよ待てよ怒！お前等、船を何で俺の合図なしに沖の方に出てるんだよ怒！）

船員（だって船長。。さっきもゴミだけでなく、立しよんを海に向かってして俺の小便はぶっちゃけ聖水何だとか言ってたし、ワガママなんですよ怒！）

木村（オイ怒！船を出すな！叫！）木村は怒鳴り散らした。

渡（グラグラグラ笑。調子に乗るなよ。所で木村。。昔、指にはめていた指輪はどうしたんだ？お前の友に託されたとか言う指輪は。。。。？）

木村（あゝ・あの指輪か。次の時代に託してきた笑。）渡は意味が分からずに首を傾げた。

木村（じゃあ、ぶっちゃけ俺は泳いでい帰るから、また高みで会おうぜ笑！）木村はワンピースヲタクのやりそうな、アラバスタの時にルフィ達がやった×印を見せるポーズをやって船まで泳いで行った。

その頃、東京のクレーンが立ち並ぶ工業地帯に、ある船に乗り込もうとしているあの男が居た。

小沢一郎（ゼハハハハ笑。ついに完成したぜ。俺様が西松建設から貰った献金を使い、鹿島の野郎に作らせた俺様の船だ！名付けて、サニープラック献金パール号だー叫！）黒色の巨大な船は、船首が小沢の顔を飾っており不気味な海賊船だった。

谷亮子（ヤワラララ笑。所々、ワンピースやパイレーツオブカリビアンの船の名前をパクっているが、巨大で漆黒の立派な船だね小沢さん！）

氷室京介（げほげほ・あゝセキが出て血が出ちゃった・私・震災のチャリティーのライブをやったりと・募金活動もしているが、失敬！げー吐。血がまた出た・まさか、小沢さんの献金で新たなる小沢グループの一員になっている何て誰も思いはしないだろうな・ごほげほ・）

小沢一郎（オイ・氷室。お前毎日、顔色悪くて血を吐いているが、船の中で吐くなよ・新品なんだからな。吐いたら殺すぜ笑。）

氷室（目まいがする・泣。スイマセン谷さん・貴方の道場着で口の周りを拭かせてください。）氷室は谷の道場着で口を拭いた。谷（お前怒！気持ち悪いぞ怒！）

青木嵩高（そう言えば小沢さん・確か興石の奴とは此処で落ち合っんですよね・）青木は自分の銃の手入れをしながら構え、空を飛んでいるカモメを一発の弾丸で、瞬時に5羽撃ち落とした。

小沢（青木笑。お前らしくねえじゃねえか。お前、何時も言ってるじゃないか、其れもまためぐり合わせってな！それじゃあお前等、

船に乗ったし帆を上げる！）小沢の船のマークは、髑髏が献金を囓
んでいる紋章だった。

谷（ヤワラララ笑。小沢さんの船のマークは、小沢さんの特徴を
現してるぜ♪）

青木（やはり・・・それもめぐり合わせ。日頃の行いの賜物であるか
・・・）

小沢（船が波に乗って動き出したぜ笑。輿石の奴は自分の能力で飛
んでくるだろうし、ヨシ野郎ども！船は北を行くぞ叫！目指すはあ
の場所だ笑！あの場所は俺をパワーアップさせる場所だぜ♪楽しみ
だ。）

氷室（ごほごほ・・・また海に血を吐いた。小沢さん・・・K A R A の
ジェットコースターラブかけますね。）船内にはK A R A の曲が流
れ始めた。

小沢（良いじゃねえか♪ヨシ！俺様は面倒くさがりだけど、船の舵
を取ってやらあ！行くぞ！目指すあの場所に！其処の遊びが終わっ
たら、先にあの場所で鳩山君も待っているだろう！俺様は覇を取る
ぜ！楽しみだぜ♪船を進めるぜ！ゼハハハハハ笑。）小沢は船の舵
を回して、風に乗り船は北に向かった。

Y U I はその頃、菅のアホ行動に呆れてしまい、菅を放っておいて
官邸の近くのセブンイレブンに枝豆スナックと焼き鳥とチューハイ
と生ビールを買ってきて、神崎昴と飲んだり食べたりして、途中に
来なくて良いのに菅の奴も来て3人でワイワイやっていた。

Y U I（休みの日の昼間っから飲む酒は良いわ♪）

神崎昴（僕は未成年ですし、工作中ですけれどもお酒を飲めるし良い
身分ですよ♪）

菅直人（かゝんかんかん笑。俺様何て、国会で議論する前には
必ず酒を飲んでいるぞ♪ハイボールを一気飲みして、酔っぱらった
まま国会で与野党の攻撃を受けているから、何をあいつ等批判して
いるのか分からないんだ！）

Y U I（少しは状況とか常識を持て！空き缶怒！）

菅（分かった！分かった！俺様は内閣支持率も今週で、12・5%にまで急落したし俺様的にはこの12つて数字を消費税の増税に上げようと思うんだ♪消費税・・12%増税・・我ながら良いアイデアだぜ！サッカーの女子チームをドイツまで応援に行きたかったが、今の状態でいける訳ないでしょう！って、枝野にまた怒られたし踏んだり蹴ったりだけど、10月には中国様まで行くし、初孫が生まれるし何としても内閣を続けてやるぞ！）

YUI（続けるな怒！さつさと、辞任して東尋坊で自殺しろ怒！）
神崎昂（YUIさん・其れは甘いですよ。コイツは官邸を去る瞬間に、塩酸をコイツの体にはらまかないといけませんよ。）

YUI（そんで言うんだよね♪うわゝ俺様の体が溶けるってハハハ笑。ウケるは笑。）

菅（お前等いい加減にしろ怒！誰に向かって口をきいてるんじゃ怒！この・酒やつまみだつて俺様のおごりだし・土下座して本来貴様等は食べないといけないんだぞ怒！）菅は怒鳴り散らした。

神崎昂（まあ、その点は良い菅・。）

菅（たくよ・因みに俺様は孫が初めて生まれるんだけど、名前は何が良いか悩んでいるんだ。お前等だったら何て名前が良いと思う菅？）

YUI（命名・長芋か・孫芋で良いんじゃないやねえ笑？）

神崎昂（ぷぷ笑。YUIさん・其れはあまりにも酷い・縁起が良いように、海老芋で良いでしょう。）

菅（お前等怒！人の孫をおせちの料理と一緒にするな怒！）

YUI（だったら・命名。男だと、脱原発、女だと、被災地つて名前で良くない菅笑！）

神崎昂（ぷぷ笑。YUIさん・それ頂きです笑！）神崎は笑いながら、小指を立てた。

菅（お前等怒！生まれてくる子供に対して、人権も無いの菅怒！）
YUI（うん・空き缶に、人権は無いよ。その子供も孫にも人権は無い笑。）

菅（かかかかん叫！本当に怒ったぞ・・フン！だったらお前等と協力して、俺様や孫の為に探し出そうとした奇跡の力を探す冒険は無しにする菅！）菅はそっぽを向いた。

YUI（うわ・・また、来週の終りぐらいから始まる新章の幕開け的な事を言いだした・・呆。）

神崎昂（正直・・僕は毎回嫌なんですよ。コイツの冒険ごっこに付き合わされるの怒。）

菅（お前等、馬菅野郎だな笑。良いか地図があるんだ。）菅は地図を開きだした。

YUI（東北の地図では無い菅？）

菅（かかんかんかん笑。最近、菅語があたりまえの用になってきたな笑。其れより此处だ。この白神山地と言う大きな山脈に、その奇跡の力があるんだ笑。）菅は白神山地を指で押した。

YUI（行きたくない・・泣。また、変な奴等が絡むんだ泣。）

神崎昂（僕・・東北には行ってはいけない病何です泣。）

YUI（私もそれ！だから、チャリティー活動をしななんだよ泣。東北に行ったら、体が動かなくなる。）

菅（ま！来週までに武器を備えておけよ）菅は自分のパチンコを意味もなく構えた。

その頃、別の場所でも同じ会話が話されていた。

鳩山邦夫（お兄ちゃん大変だ叫！）鳩山達は北海道のお祖父ちゃんの別荘に来ていた。

鳩山由紀夫（どうした邦夫！菅のアホが辞任したか笑！其れとも等々、お前の頭の髪が完全に禿たか？）由紀夫はゴルフを楽しんでいた。

邦夫（そんな物では無い！・・って！僕の頭の事は言うな怒！さつき、お祖父ちゃんの部屋の机をあさっていたら・・とんでも無い物が出てきたんだ！）邦夫は地図を渡した。

鳩山（おじいちゃん・・エロ本でも隠してたのか？ん！違う・・此れは！我が鳩山家が代々、探し求めていた・・奇跡の力では無いの

か？)

邦夫（白神山地にあると言ってたし、間違いない笑。お兄ちゃん・再び覇を唱えるんだ！）

鳩山（ぽぽぽ笑邦夫。直ぐに民主党鳩山派の議員を呼べ！僕ちゃんが再び立つ時が来たぞ！）

邦夫（ぽぽぽ笑。覇はまた、僕ちゃん達の前にやつてくるんだ笑。）
場所が代わりYUI達はまだまだ話していたが、神崎昂は心の中で
ほくそ笑んでいた。

神崎昂（奇跡の力笑・・良いことを聞いたな。後で堪坂と稲村（元
ドンキホーテの常務）連絡をして少しパーティを遅らせよう菅笑。
もっと派手なパーティをな笑。）次回はイオン9

悪党どもの霸道（後書き）

感想を書いてね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9183u/>

其々の霸道3

2011年10月9日02時50分発行